

3 SDGsの推進

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略で、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会共通の開発目標です。17の目標と169のターゲットで構成され、地球上の誰一人として取り残さない社会の実現を目指すもので、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に対する統合的な取組が示されています。本計画においても、施策展開の視点として、SDGsとの整合性を図り、当町の実情に合致する施策を推進することとします。



あらゆる場所のあらゆる貧困をなくしましょう



飢餓とは食べ物がなくて栄養がたりないこと。食料支援や栄養改善を支援しましょう



健康的な生活と福祉サービスを確保しましょう



全ての人に教育を受ける権利があります。学校教育や社会教育の機会を促進しましょう



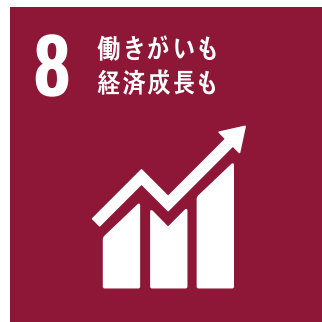
経済、政治、教育、健康など全ての分野で、女性や子ども等の弱者の人権を守りましょう



きれいで安全な飲み水やトイレを全ての人々に提供しましょう



電気の無駄遣いをなくし、持続可能なエネルギーを活用しましょう



地域経済の活性化や雇用の創出を行うとともに勤務環境を改善し、やりがいのある働き方を進めましょう



水道、ガス、電気、道路などインフラを整備し、イノベーションをおこしましょう



不公平、不平等のないまちづくりを行いましょう



きれいな空気やごみ収集が当たり前にある住みやすいまちにしましょう



省エネ、3Rを徹底し、限りある資源を大切にしましょう



温室効果ガスの排出を削減しましょう



海洋汚染の8割は、陸上の活動が影響していると言われています。海から遠いまちでも汚染対策をしましょう



森林を守ることで、そこに生息する動植物、昆虫を守ることに繋がります



暴力や犯罪を減らし平和で公正な社会をつくりましょう



町民1人ひとりが協力し、年齢や性別等に関係なく、持続可能な世界を構築するために行動しましょう



ゼロカーボン:

温室効果ガスの排出量から森林等の吸収量を差し引いて、実質的に排出をゼロにすること

脱炭素社会:

石油や石炭などの化石燃料から脱却すること

4 ゼロカーボンの実現

国や道では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、ゼロカーボン、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言し、地域における脱炭素化に向けた取組についても推進しています。本町でも目標年度(2030年度)に基準年度(2013年度)比で48%の削減目標を掲げ、さらには、2050年における温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します。